

神戸大学医学部医学科探訪を実施しました

進路指導部

8月21日（火）、神戸大学「医学部へ行こう！プロジェクト」の一環として、神戸大学医学部医学科探訪を実施しました。当日は神戸大学医学部についての説明や医学部医学科では何を学ぶかといったお話、藤澤学長のご講演、実習、本校OB・OGとの質問会など、非常に充実した一日となりました。

【生徒の感想】（抜粋）

神戸大学の説明では、教育や研究に力を入れていることや、充実した学習環境について詳しく知ることができました。また、医学部では専門的な知識や技術を身に付けるだけでなく、多職種と連携する力も大切にしていることが印象に残りました。臨床検査技師や看護師、放射線技師など、さまざまな医療職についても学び、医療は多くの職種が協力して成り立っていることを理解することができました。

人生は単線ではなく複線コースという藤澤学長のお言葉に力づけられました。まず医学部に入学しなければならないことはもちろんですが、私は臨床、研究、社会医学のどれにも興味があり、進みたい道が複数あることで、将来自分が選ぶ分野も中途半端に取り組むことになってしまうのではないかと不安に思っていました。ですが今回お話を伺って、必ずしも一本の道だけを選ぶ必要はないと気づくことができ、情報を集め、時間をかけて決めていこうと思うことができました。

医学部探訪では、人形を使ってエコー検査や心音・呼吸音の聴診を体験しました。実際の医療現場で使用する機器に触れることができ、とても貴重な経験になりました。エコー検査では、体の内部をリアルタイムで観察できることに驚きました。また、心音や呼吸音を聞き分けることの難しさを実感し、医療従事者には正確な知識と技術が必要であることを学びました。今回の実習を通して、医療への興味がさらに深まり、将来についてもより真剣に考えるきっかけになりました。

【探訪の様子】



藤澤学長のご講演



循環器科 石田達郎先生による実習